

令和6年度 全国学力・学習状況調査 北栄町の概要

令和6年9月6日
北栄町教育委員会

1 実施状況 令和6年4月18日実施

【小学校6年生】

教科等	国語	算数	質問紙
人数	123	124	128

【中学校3年生】

教科等	国語	数学	質問紙
人数	122	122	124

2 教科の概要

(1) 小学校6年生

【国語】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	123	14	9.1	65
鳥取県（公立）	4,255		9.5	68
全 国（公立）	947,364		9.5	67.7

【算数】

	児童数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	124	16	10.0	62
鳥取県（公立）	4,257		10.1	63
全 国（公立）	947,579		10.1	63.4

(2) 中学校3年生

【国語】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	122	15	8.7	58
鳥取県（公立）	4,167		8.5	57
全 国（公立）	875,574		8.7	58.1

【数学】

	生徒数	問題数	平均正答数	平均正答率
北栄町	122	16	8.3	52
鳥取県（公立）	4,169		8.0	50
全 国（公立）	875,952		8.4	52.5

3 校種ごとの教科の傾向

(1) 小学校6年生

【国語】・・・14問

◆平均正答率・・・北栄町65%、鳥取県68%、全国67.7%

・平均正答率が全国平均以上の問題は 4問

・平均正答率が県平均以上の問題は 4問

・学習指導要領の内容では、「我が国の言語文化に関する事項」で全国平均を上回っている。「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「情報の扱い方に関する事項」、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」「読むこと」では全国平均を下回っている。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題 (北栄町 47.2%, 全国比 +3.8)

「文の中における主語と述語との関係を捉えることができるかどうかをみる」問題 (北栄町 65.9%, 全国比 +3.6)

「日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付くことができるかどうかをみる」問題 (北栄町 78.0%, 全国比 +3.4)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題 (北栄町 41.5%, 全国比 -11.4)

「目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる」問題 (北栄町 54.5%, 全国比 -9.3)

「話し言葉と書き言葉との違いに気づくことができるかどうかをみる」問題 (北栄町 67.5%, 全国比 -8.4)

[国語関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高いもの
なし

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの

「国語の勉強は好きですか」 (北栄町 50.0% 鳥取県 63.1% 全国 62.0%)

「国語の授業の内容はよくわかりますか」

(北栄町 82.1% 鳥取県 85.7% 全国 86.3%)

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

(北栄町 91.4% 鳥取県 93.9% 全国 93.2%)

「国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理していますか」

(北栄町 76.6% 鳥取県 76.7% 全国 78.3%)

「国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えていますか」

(北栄町 76.5% 鳥取県 79.2% 全国 80.0%)

「国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いていますか」

(北栄町 79.7% 鳥取県 82.2% 全国 83.2%)

「国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目していますか」

(北栄町 80.5% 鳥取県 82.9% 全国 84.4%)

【算数】・・・16問

◆平均正答率・・・北栄町62%、鳥取県63%、全国63.4%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 7問
- ・平均正答率が県平均以上の問題は 7問
- ・学習指導要領の領域では、「変化と関係」の領域で全国平均を上回っている。「数と計算」、「データの活用」では全国平均を下回っている。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「速さの意味について理解しているかどうかをみる」問題

(北栄町 58.9%, 全国比 +4.8)

「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」問題

(北栄町 34.7%, 全国比 +3.7)

「数量の関係を、□を用いた式に表すことができるかどうかをみる」問題

(北栄町 91.9%, 全国比 +3.4)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できるかどうかをみる」問題

(北栄町 46.0%, 全国比 -10.9)

「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる」問題

(北栄町 42.7%, 全国比 -6.6)

「簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、落ちや重なりがないように分類整理することができるかどうかをみる」問題

(北栄町 69.4%, 全国比 -3.9)

[算数関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高いもの

「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」

(北栄町 79.7%、鳥取県 76.7%、全国 77.9%)

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの

「算数の勉強は好きですか」 (北栄町 57.0%、鳥取県 59.1%、全国 61.0%)

「算数の勉強は大切だと思いますか」 (北栄町 92.2%、鳥取県 95.1%、全国 94.6%)

「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」

(北栄町 93.0%、鳥取県 95.3%、全国 94.1%)

「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」

(北栄町 81.3%、鳥取県 83.3%、全国 83.3%)

「算数の問題の解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか」

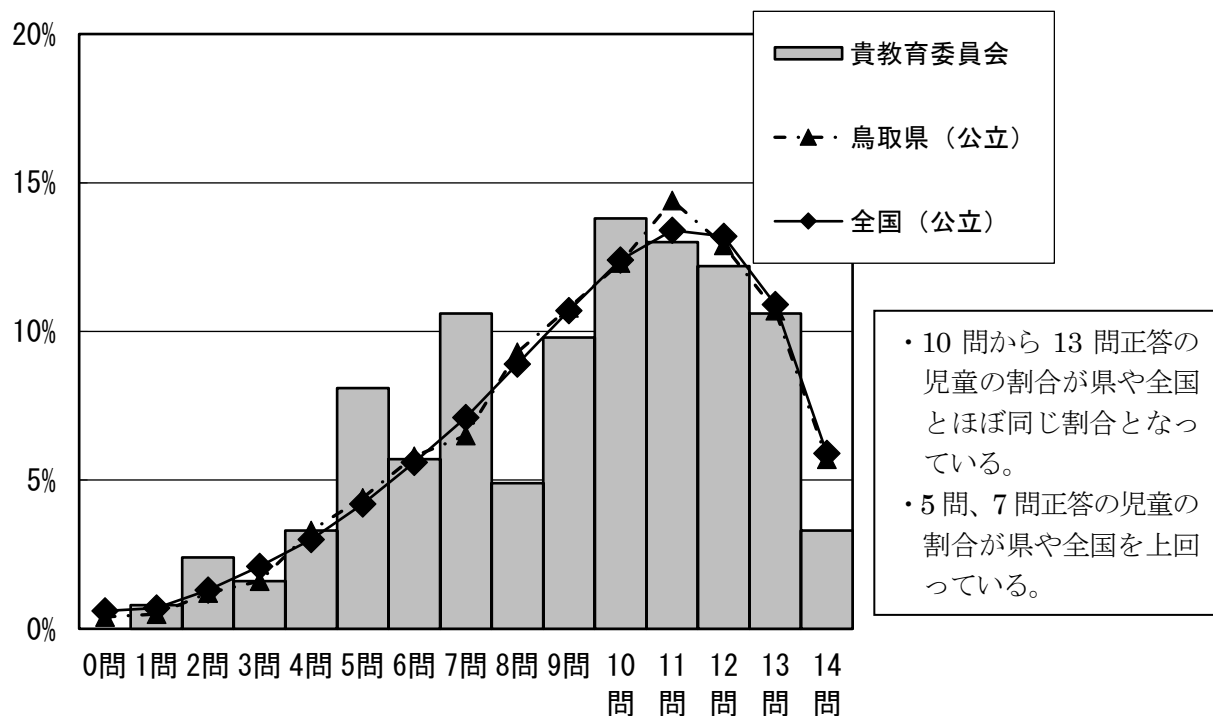
(北栄町 59.4%、鳥取県 62.7%、全国 63.6%)

「算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか」

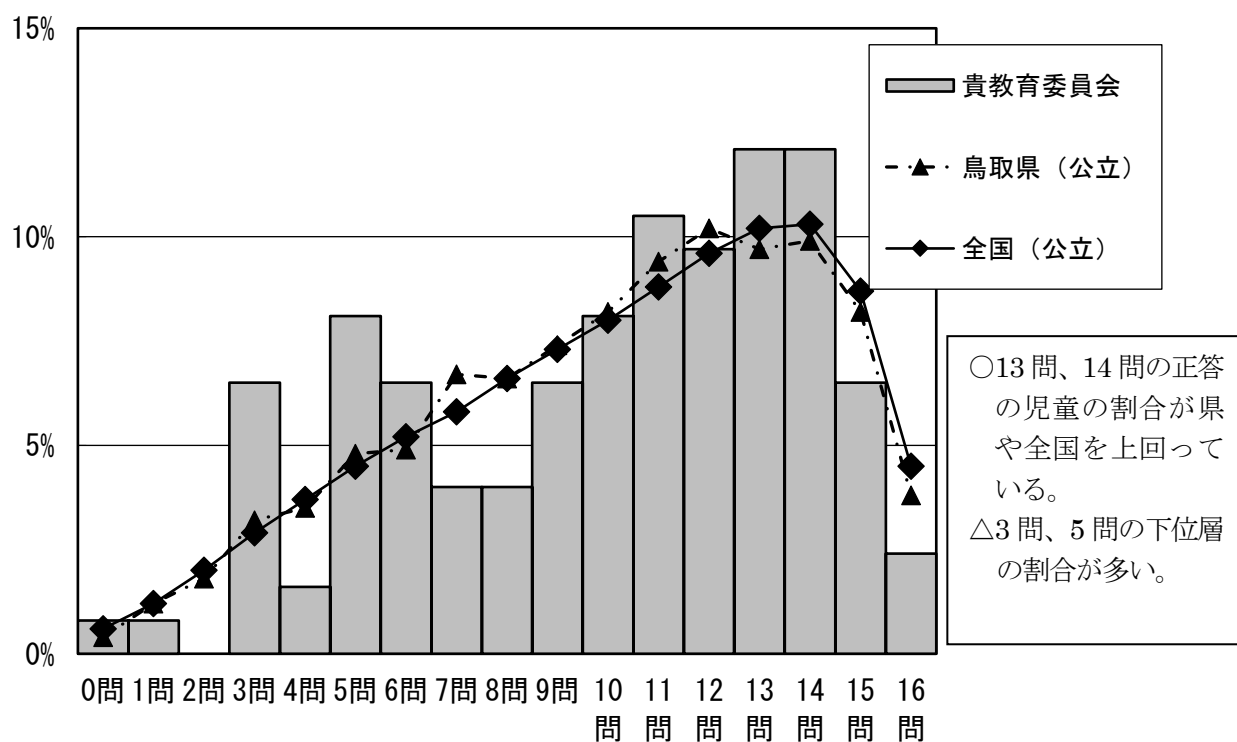
(北栄町 83.6%、鳥取県 84.1%、全国 84.6%)

★各教科の正答数分布グラフ

〔国語〕



〔算数〕



○ 小学校授業改善に向けて

国語においては、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうかをみる」問題の正答率が全国平均を上回っており、授業の中で読み方や字形に注意して繰り返し練習することにとどまらず、必要に応じて漢字を使って、文や文章を書くという機会を設けていることが伺えます。一方で「話すこと、聞くこと」の内容に課題が見られました。特に「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかどうかをみる」問題に誤答が多く見られました。学習指導にあたっては、相手や目的を意識しながら、自分の思いが伝わるように表現を工夫するよう指導することが重要です。また、話したり、聞いたりする活動の前に作成したあるいは、話題に応じて集めた材料を分類したり、関連付けたりした資料が実際に自分が話す際にどのように役立ったのかを振り返り、実感するような学習活動が求められます。その際、デジタル機器を活用して自分が話したり、聞いたりする姿を録音・録画しておき、振り返りの場面で活用するなど、話したり聞いたりする際に考えたり、表現したりしたことを客観的に見つめ直す活動を取り入れることも効果的と考えます。

算数においては、「数量の関係を□を用いた式に表すことができるかどうかをみる」問題の正答率が91.9%と高く、全国県平均を上回っています。児童は問題を解決するために、未知の数量を□などの記号を用いて、問題場面どおりに数量の関係を式に表すことができる良さに気付いていると考えられます。一方で「計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方と答えを式や言葉を用いて記述できる」問題に課題が見られました。指導にあたっては、計算に関して成り立つ性質を活用していることを、図や式を用いて場面と関連付けて理解できるようにすることが大切です。さらに、答えの求め方について、筋道を立てて説明できるようにすることが大切です。日常の具体的な場面に対応させて計算を工夫することで能率的に処理できる場合があることに気付かせる学習活動を取り入れることも必要と考えます。

質問紙調査によると、「5年生までの学習の中でPC・タブレットなどの活用について自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる」（肯定的回答 84.4%/全国 79.2%）、同様に「友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる」（同 87.5%/同 86.2%）という質問に対して、肯定的に回答した児童は全国と比較して高く、児童がICT機器を活用した学習において良さを感じていると同時に教員がICT機器を授業の中で効果的に取り入れていることが伺えます。「朝食を毎日食べていますか」（同 94.5%/同 93.7%）、「毎日同じくらいの時刻に寝ていますか」（同 83.6%/同 82.9%）という質問に対して、肯定的に回答した児童は全国と比較して高いものの昨年度より下回っています。特に朝食をあまり食べていないと回答する児童が増加傾向です。また、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」（同 78.1%/同 83.5%）、「将来の夢や目標を持っていますか」（同 69.6%/同 82.4%）という質問に対して肯定的に回答した児童は全国平均を下回りました。ふるさとキャリア教育の取組を推進し、将来の展望をもち、地域のために活動しようとする人材の育成を進めていくことの必要性を感じます。

（2）中学3年生

【国語】・・・15問

◆平均正答率・・・北栄町58%、鳥取県57%、全国58.1%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 8問
- ・平均正答率が県平均以上の問題は 11問
- ・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているものは「書くこと」「読むこと」で、下回っているのは「話すこと・聞くこと」である。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「本文中の図の役割を説明したものとして適切なものを選択する」問題

(北栄 43.4%, 全国比 +7.1)

「行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する」問題

(北栄 82.0%, 全国比 +6.4)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「話し合いの中で発言する際に示している資料の部分として適切な部分を○で囲む」問題
(北栄 60.7%, 全国比 -7.8)

「話し合いの中の発言について説明したものとして適切なものを選択する」問題
(北栄 57.4%, 全国比 -5.8)

[国語関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの

「国語の勉強は好きですか」 (北栄町 79.8%, 鳥取県 66.4%, 全国 64.3%)

「国語の勉強は大切だと思いますか」 (北栄町 98.4%, 鳥取県 94.4%, 全国 93.9%)

「国語の授業の内容はよく分かりますか」 (北栄町 92.8%, 鳥取県 82%, 全国 82.7%)

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
(北栄町 98.4%, 鳥取県 90.8%, 全国 90.6%)

■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの
なし

[数学]・・・16問

◆平均正答率・・・北栄町 52%, 鳥取県 50%, 全国 52.5%

・平均正答率が全国平均以上の問題は 9問

・平均正答率が県平均以上の問題は 10問

・学習指導要領の領域で、全国平均を上回っているものは「関数」「データの活用」で、下回っているのは「数と式」「図形」である。

◆全国平均以上で平均正答率との差が大きかった主な問題

「一次関数 $y = ax + b$ について、 $a = 1$ 、 $b = 1$ のときのグラフに対して、 b の値を変えずに、 a の値を大きくしたときのグラフを選ぶ」問題
(北栄 73.0%, 全国比 +7.7)

「2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも裏が出る確率を求める」問題
(北栄 79.5%, 全国比 +6.4)

◆全国平均未満で平均正答率との差が大きかった主な問題

「 n を整数とすると、連続する二つの偶数を、それぞれ n を用いた式で表す」問題
(北栄 19.7%, 全国比 -15.1)

「点 C を線分 AB 上にとり、線分 AB について同じ側に正三角形 PAC と QCB をつくと、 $\angle AQC$ と $\angle BPC$ の大きさについていえることの説明として正しいものを選ぶ」問題
(北栄 19.7%, 全国比 -7)

[数学関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国県平均より高い主なもの

「数学の勉強は好きですか」 (北栄町 61.3%, 鳥取県 56.7%, 全国 57.2%)

「数学の勉強は大切だと思いますか」 (北栄町 93.5%, 鳥取県 87.9%, 全国 87.2%)

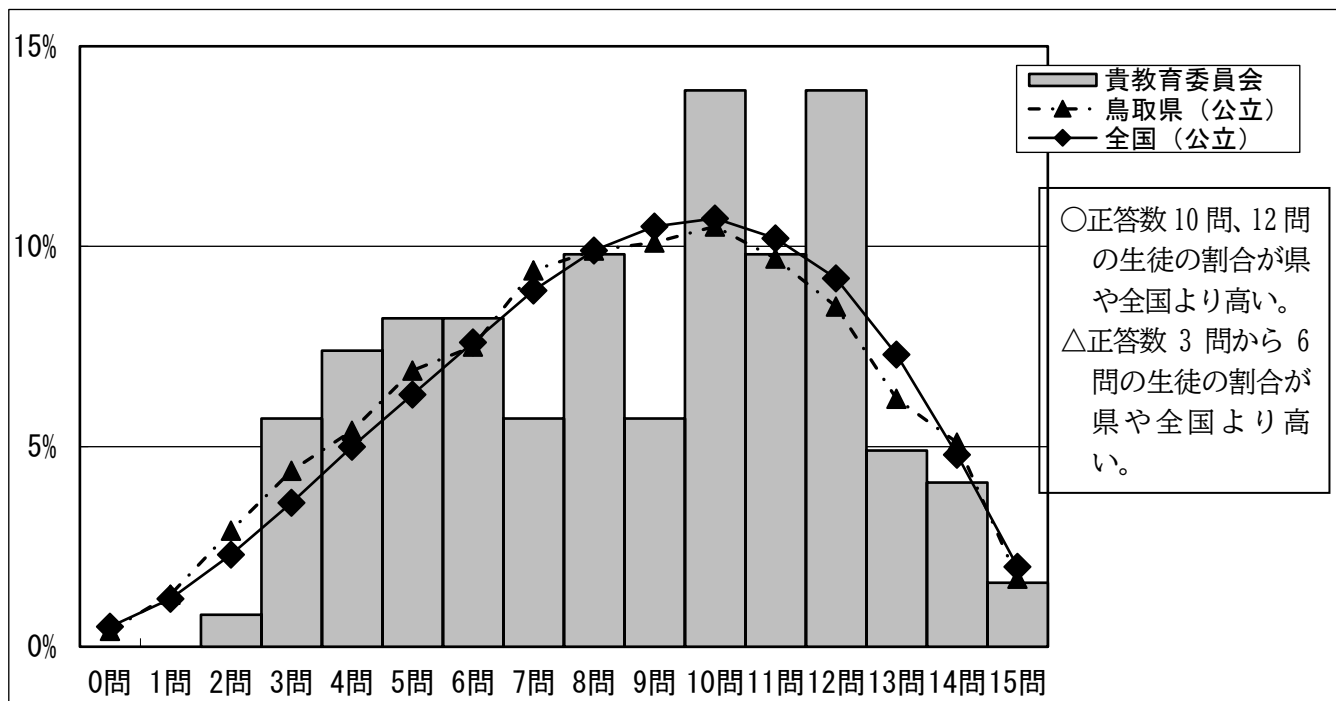
「数学の授業の内容はよく分かりますか」 (北栄町 77.4%, 鳥取県 71.4%, 全国 75.7%)

「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」
(北栄町 89.6%, 鳥取県 79.9%, 全国 78.5%)

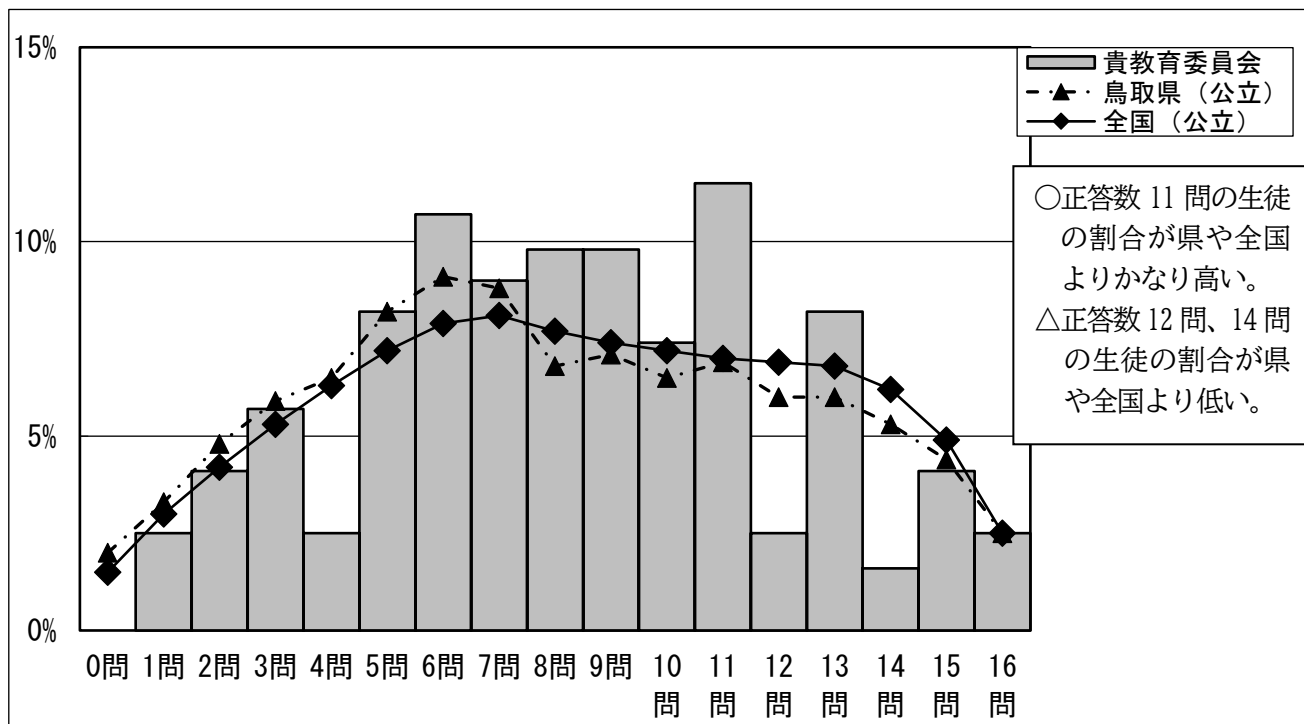
■肯定的な回答の割合が全国県平均より低いもの
なし

★各教科の正答数分布グラフ

〔国語〕



〔数学〕



○ 中学校の授業改善に向けて

国語においては、領域でみると「B書くこと」の平均正答率が全国と比べて上回っています。目的や意図に応じて集めた資料を整理し、伝えたいことを明確にすることができるか、自分の考えが伝わるように表現の効果を考えて描写することができるかを見る問題であり、力がついていると言えます。記述式の問題の無回答率は短答式、選択式と比べて高くなりますが、全国と比べると書くことへの抵抗感は低いことが伺えます。学習の中で、目的を明確にして書く場面がしっかり設定さ

れているのではないかと思います。一方で「A話すこと・聞くこと」の平均正答率が全国と比べて下回っています。話し合いは、話すことと聞くことが交互に行われる言語活動であり、それぞれの生徒が話し手でもあり聞き手でもあります。話し合いの過程では、「話すこと」と「聞くこと」に関する資質・能力が一体となって働くため、指導に当たっては両者に関する指導事項の関連を図ることが大切です。話し合いをする学習においてはねらいを明確にし、自分自身の発言を検討したり振り返ったりするような学習活動を位置づけるのもよいと思います。また、ICT 機器を活用して話し合いの場面を記録し、その記録をもとに振り返ることも効果的です。学習に関する興味・関心を見ると、79.8%の生徒が国語の勉強は好きと回答し、98%の生徒が国語の授業は大切だと思い、国語の授業で学んだことが社会に出たときに役立つと思っていることから、教科に対する関心の高さが伺えます。生徒が意欲的に取り組める学習活動の展開を期待します。

数学においては、領域でみると「関数」「データの活用」で全国と比べて平均正答率が高く、特に「関数」では一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解しているかを見る問題で力がついていると言えます。一方で、「数と式」「図形」では全国と比べて平均正答率が低く、特に「数と式」では連続する二つの偶数を、文字を用いた式で表すことに課題があります。文字を用いた式は、数量やその関係を簡潔・明瞭に、しかも一般的に表現することができるので、数量及び数量の関係を説明したり、新たな関係を見出したりする際には必要な力となります。「図形」では筋道を立てて証明することに課題がみられます。証明問題では、証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を、数学的に表現できるように指導することが大切です。この問いに対しては無回答率も高いことから、どの段階でのつまずきが見られるのかを見取り指導するとよいと思います。また、事象を図形に着目して観察し、問題解決の過程や結果を振り返り、新たな性質を見出すことにも課題が見られます。図形の性質を考察する場面では、観察や操作、実験などの活動も効果的と考えます。常時操作や実験ができるわけではないので、やはり活動を通して予想したり論理的に考察して表現したりする力をつける必要もあると考えます。学習に関する興味・関心を見ると、61.3%の生徒が数学の勉強は好きと回答し、約90%の生徒が数学の授業は大切だと思い、数学の授業で学んだことが社会に出たときに役立つと思っていることから、教科に対する関心の高さが伺えます。生徒が意欲的に取り組める学習活動の展開を期待します。

質問紙調査によると、「朝食を毎日食べていますか」（肯定的回答 96.0%／全国 91.2%）、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」（同 86.3%／同 80.7%）、「毎日、同じくらいの時間に起きていますか」（同 96.0%／同 92.5%）という質問に対して、肯定的に回答した生徒は全国と比較して高く、基本的な生活習慣が身についている生徒が多いです。学習習慣を見ると、学校の授業時間以外に、平日1日当たり2時間以上学習する生徒は24.2%、休日1日当たり3時間以上学習する生徒は13.7%で、どちらも全国平均を下回りました。学校の授業以外の学習時間に関しては全国の傾向とほぼ同じで、平日休日ともに1時間以上2時間未満の生徒が最も多いです。時間の多少はありますが、多くの生徒が家庭学習（塾を含む）に取り組む習慣が身についているようです。一方で「全くしない」と回答した生徒もいることから、授業につながる課題の出し方や課題の量、学習の仕方についての指導などの再確認も必要だと考えます。

放課後や休日の過ごし方を見ると、9割の生徒が学校の部活動に参加している、家でテレビや動画を見たりゲームをしたり SNS を利用したりしていると回答しています。

「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」と回答した生徒の割合は81.4%で県全国と比べて上回っていますし、昨年度よりも高くなっています。また、「放課後や週末に何をしてお過ごしが多いですか」の問いに「地域の活動に参加している」と回答している生徒もいることから、CS の活動が浸透し、地域と家庭、学校が連携を図って取り組んでいる成果が出ていると考えます。今後も地域の方を交えたトーク大会や学習支援、総合的な学習の取組を継続し、地域に貢献する生徒の育成を期待します。

4 児童生徒質問紙調査の概要 ※番号は、質問番号

【小学校】

番号	質問事項	北栄	県	全国	全国比
1	朝食を毎日食べていますか	94.5	94.7	93.7	0.8
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.6	84.4	82.9	0.7
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	91.5	91.8	91.6	△0.1
9	自分には、よいところがあると思いますか	82.8	83.9	84.1	△1.3
10	先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか	87.5	92.8	89.9	△2.4
11	将来の夢や目標を持っていますか	69.6	81.8	82.4	△12.8
12	人が困っているときに進んで助けていますか	92.2	92.2	92.7	△0.5
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	98.4	97.5	96.7	1.7
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95.3	95.5	95.9	△0.6
21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（2時間以上）	18.0	17.7	23.5	△5.5
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（3時間以上）	10.9	6.4	11.6	△0.7
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	78.1	83.6	83.5	△5.4
26	放課後や週末何をして過ごすことが多いですか（地域の活動に参加している）	8.6	5.6	4.4	4.4
28	5年生までの学習の中で PC・タブレットなどの活用についてどのくらいあてはまりますか	82	86.7	86.0	△4.0
(3)	楽しみながら学習を進めることができる				
(5)	自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	84.4	76.4	79.2	5.2
(6)	友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	87.5	83.3	86.2	1.3
(7)	友達と協力しながら学習を進めることができる	84.4	86.4	87.1	△2.7
30	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	74.3	79.3	81.9	△7.6
33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか	82.1	85.5	86.3	△4.2
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか	78.1	79.9	80.8	△2.7
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。	85.2	84.5	83.7	1.5
42	国語の勉強は好きですか	50.0	63.1	62.0	△12.0
43	国語の勉強は大切だと思いますか	94.5	94.1	94.5	0
44	国語の授業の内容はよく分かりますか	82.1	85.7	86.3	△4.2
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	91.4	93.9	93.2	△1.8
50	算数の勉強は好きですか	57.0	59.1	61.0	△4.0
51	算数の勉強は大切だと思いますか	92.2	95.1	94.6	△2.4
52	算数の授業の内容はよく分かりますか	80.5	79.5	82.1	△1.6
53	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.0	95.3	94.1	△1.1
58	理科の勉強は好きですか	87.5	85.6	83.6	3.9
61	英語の勉強は好きですか	68.7	67.8	69.3	△0.6
62	英語の勉強は大切だと思いますか	85.9	91.1	92.1	△6.2
63	英語の授業の内容はよくわかりますか	80.4	77.0	78.3	2.1

生活習慣・学習習慣	自己有用感・規範意識	主体的・対話的で深い学び	学習に関する興味・関心等
地域とのかかわり	ICT を活用した学習状況		

【中学校】

番号	質問事項	北栄	県	全国	全国比
1	朝食を毎日食べていますか	96.0	92.8	91.2	4.8
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	86.3	84.2	80.7	5.6
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	96.0	93.4	92.5	3.5
4	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）（30分以上）	45.2	36.8	36.4	8.8
9	自分には、よいところがあると思いますか	88.7	82.7	83.3	5.4
10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。	95.2	92.3	90.4	4.8
11	将来の夢や目標を持っていますか	64.5	66.5	66.3	△1.8
12	人が困っているときは、進んで助けていますか。	92.7	88.8	90.1	2.6
13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	96.8	95.6	95.7	1.1
15	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	97.5	95.3	95.2	2.3
21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（2時間以上）	24.2	23.4	31.7	△7.5
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）（3時間以上）	13.7	11.9	15.5	△1.8
26	放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか（地域の活動に参加している）	9.7	5.7	3.9	5.8
25	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	81.4	76.8	76.1	5.3
28	1,2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、次のことはあなたにどれくらい当てはまりますか	87.9	85.7	82.4	5.5
(3)	楽しみながら学習を進めることができる				
(5)	自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる	86.3	81.2	77.7	8.6
(6)	友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる	93.5	88.7	86.2	7.3
(7)	友達と協力しながら学習を進めることができる	91.1	88.8	85.2	5.9
30	1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか	83.0	81.9	80.3	2.7
33	学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	92.0	87.7	86.1	5.9
34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。	89.6	80.5	77.9	11.7
35	授業で学んだことを、次の学習や自生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか。	86.3	80.9	79.0	7.3
42	国語の勉強は好きですか	79.8	66.4	64.3	15.5
43	国語の勉強は大切だと思いますか	98.4	94.4	93.9	4.5
44	国語の授業の内容はよく分かりますか	92.8	82.0	82.7	10.1
45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	98.4	90.8	90.6	7.8
50	数学の勉強は好きですか	61.3	56.7	57.2	4.1
51	数学の勉強は大切だと思いますか	93.5	87.9	87.2	6.3
52	数学の授業の内容はよく分かりますか	77.4	71.4	75.7	1.7
53	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.6	79.9	78.5	11.1
58	理科の勉強は好きですか	74.2	69.3	68.3	5.9
59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることはありますか	70.2	71.5	70.7	△0.5
60	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	79.8	71.3	71.5	8.3

生活習慣・学習習慣

自己有用感・規範意識

主体的・対話的で深い学び

学習に関する興味・関心等

地域とのかかわり

ICTを活用した学習状況